



山梨県景気動向指数の概要 (平成30年1月分)

山梨県CI(先行系列・一致系列・遅行系列)

CI一致指数(H22 = 100)は、139.1となり、前月と比較して4.4ポイント下降(5か月ぶり)

採用系列ごとの寄与度では、**鉱工業生産指数(鉱工業)が2.09と最も大きく下降に寄与**

CI先行指数は142.4となり、前月と比較して6.4ポイントの下降(8か月ぶり)

採用系列ごとの寄与度では、**鉱工業生産指数(生産材)が4.28と最も大きく下降に寄与**

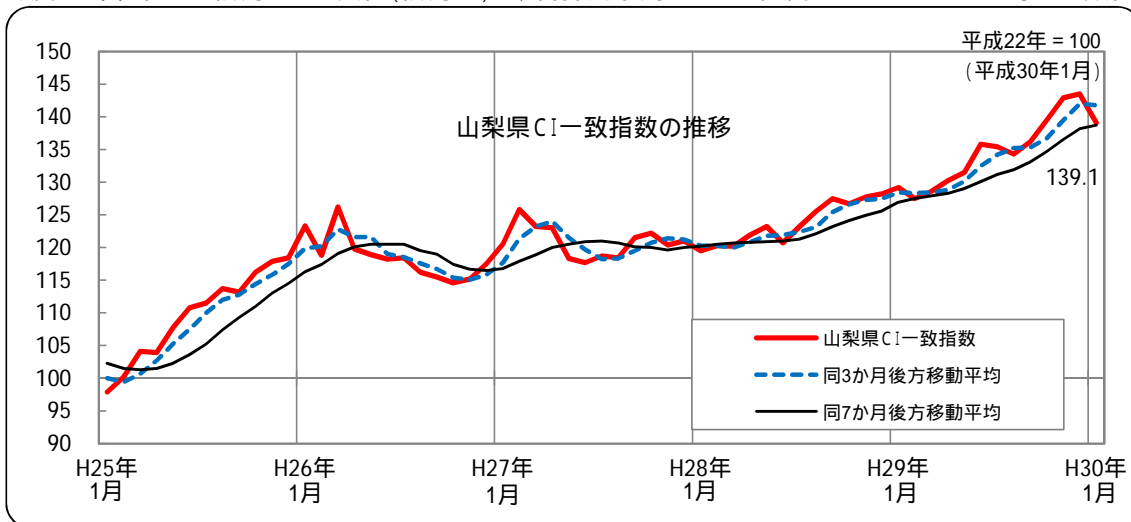
CI遅行指数は178.9となり、前月と比較して2.8ポイントの下降(2か月ぶり)

採用系列ごとの寄与度では、**法人事業税(調定額)が2.84と最も大きく下降に寄与**

山梨県CI一致指数採用系列の寄与度		平成30年1月
山梨県CI一致指数		139.1
	前月差(ポイント)	4.4
1 鉱工業生産指数(鉱工業)	前月比伸び率(%)	5.5
	寄与度	2.09
2 百貨店・スーパー販売額	前月差	0.5
	寄与度	0.14
3 所定外労働時間指数(製造業30人以上)	前月比伸び率(%)	5.6
	寄与度	1.66
4 有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	前月差	0.01
	寄与度	0.15
5 県立美術館・富士山世界遺産センター(北館)来館者数	前月比伸び率(%)	6.2
	寄与度	0.69

「」は負数。

寄与度は山梨県CIの前月からの変化(前月差)が、各採用系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。



< 参考 > 山梨県DI

景気の現状を示す一致指数は、80.0%となり、20か月連続で50%を上回った。

(注)以下の理由により、CI及びDIは全期間遡及改訂されている。

先行系列において、「新規求人数(新規学卒を除く全数)」、「新車登録・届出台数(乗用車・貨物車)」が、季節調整替えにより遡及改訂された。
一致系列において、「所定外労働時間指数(製造業30人以上)」、「有効求人倍率(新規学卒を除く全数)」、「県立美術館・富士山世界遺産センター(北館)来館者数」が、季節調整替えにより遡及改訂された。
遅行系列において、「実質法人企業設備投資(製造業)」、「家計消費支出(二人以上の世帯)」、「常用雇用指数(製造業30人以上)」、「有効求職者数(逆)」、「法人事業税(調定額)」が、季節調整替えにより遡及改訂された。